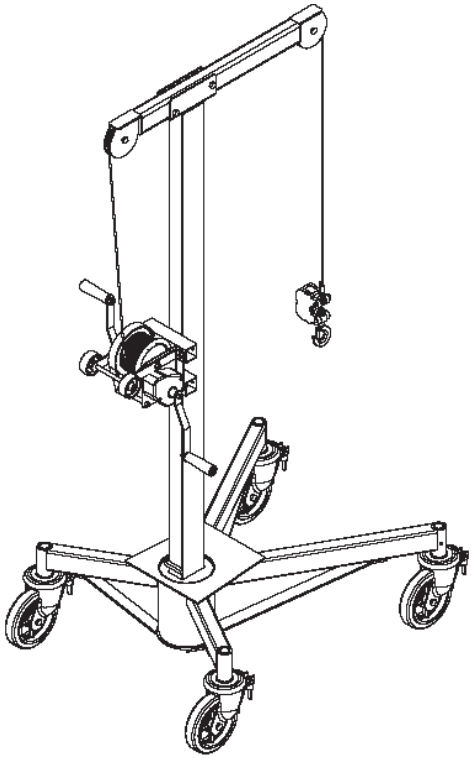
Asada

環境を守る親切ツール

ワイヤホイスト

ホイストＦ２２４

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1302

ホイストＦ２２４

安全にご使用いただくために

このたびは、ホイストＦ２２４をお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損，変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の３つのレベルに分類されます。

⚠ 危険	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。
⚠ 警告	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。
⚠ 注意	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

分解禁止

作業環境

取扱説明書

保護具着用

その他

目　次

安全上のご注意 2
本機特有の注意事項 4
製品の構成 5
　各部の名称 5
　仕様 6
　標準付属品 6
組立 7
使用方法 9
　移動（荷物なし）..... 9
　移動（荷物あり）.....10
　ワイヤロープの上昇 11
　吊上げ用ワイヤを荷物に近づける ...12
　荷物の上昇 13
　荷物の下降 14
　マストの分解 15
　キャスタブレーキ 15
保守・点検 16
　使用前 16
　６ヶ月点検 17
　日常点検と清掃 18
　ウインチ 19
ワイヤロープの交換 20
修理・サービスを依頼される前に 21
　ウインチ 22

安全上のご注意

● ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
● 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危 険

◆ご使用前に各ワイヤロープを調べてください。
１０%以上素線が切断されているもの、直径が7%以上減少しているもの、キンクしたもの、著しく形くずれ又は腐食がある場合は使用しないでください。

◆改造は絶対行わないでください。
◆本機を使用用途以外の用途には使用しないでください。
本機は、各種配管を吊り下げるホイストになります。

⚠ 警 告

◆安全のため、定格荷重を越える荷物は吊らないでください。
定格荷重以上での使用は、故障の原因になります。

◆吊上げる前に荷物の荷重バランスを確認します。
◆荷物専用です。荷物の昇降以外に使用しないでください。
◆吊った荷物の下に入らないでください。
◆荷物の動く範囲に人がいる場合は、本機を運転しないでください。
◆本機を伸ばした状態または荷物を吊ったままの状態で離れないでください。
◆本機を移動する場合は、必ず荷物が降下された状態で行ないます。
◆荷物を揺らすような運転はしないでください。
◆吊下げ中の荷物を引いたり、引き上げたりしないでください。
◆地球吊りはしないでください。
◆本機１台分の最大荷重を超える荷物を、２台のホイストを使用して持ち上げないでください。

◆使用前にすべてのブレーキの動作を確認し、すべてのブレーキが確実に動作しない時は運転しないでください。
◆上昇・下降の作業時には周囲に人がいなことを確認してから作業します。

◆強風時など悪天候の場合は、屋外で使用しないでください。
◆突風、雨中や嵐の中では作業しないでください。

◆頭上に電線や障害物が無い場所で使用してください。
◆本機に登ったり、ハシゴなどを掛けてマストの片側に負荷をかけないでください。

⚠ 警 告

◆本体を前後ろ反対に取り付けて、短い脚側で荷物の上げ下げしないでください。

◆修理技術者以外の人は、絶対に分解しないでください。
また、改造は絶対にしないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。

◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。

◆雨中や本機に水がかかる場所では使用しないでください。

◆本機使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

⚠ 注 意

◆水平な地面に本機を設置してください。
不安定な場所は、荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。

◆各マストに強い衝撃を与えないでください。またマストを無理に引っ張らないでください。

◆昇降時は、キャスタのブレーキをかけてください。

◆本機をご使用いただく前に２～３回空運転を行ない各部に不具合が無いか確認します。特にしばらくご使用にならなかったときは必ず実行します。

◆弊社純正部品を使用してください。

◆適切な服装で作業をしてください。　操作時はヘルメット、安全靴、グローブを着用してください。
ネクタイや袖口の開いた服、編手袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

◆能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。
ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。

◆作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。

◆不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
転倒してケガをする恐れがあります。

本機特有の注意事項

⚠ 重 要

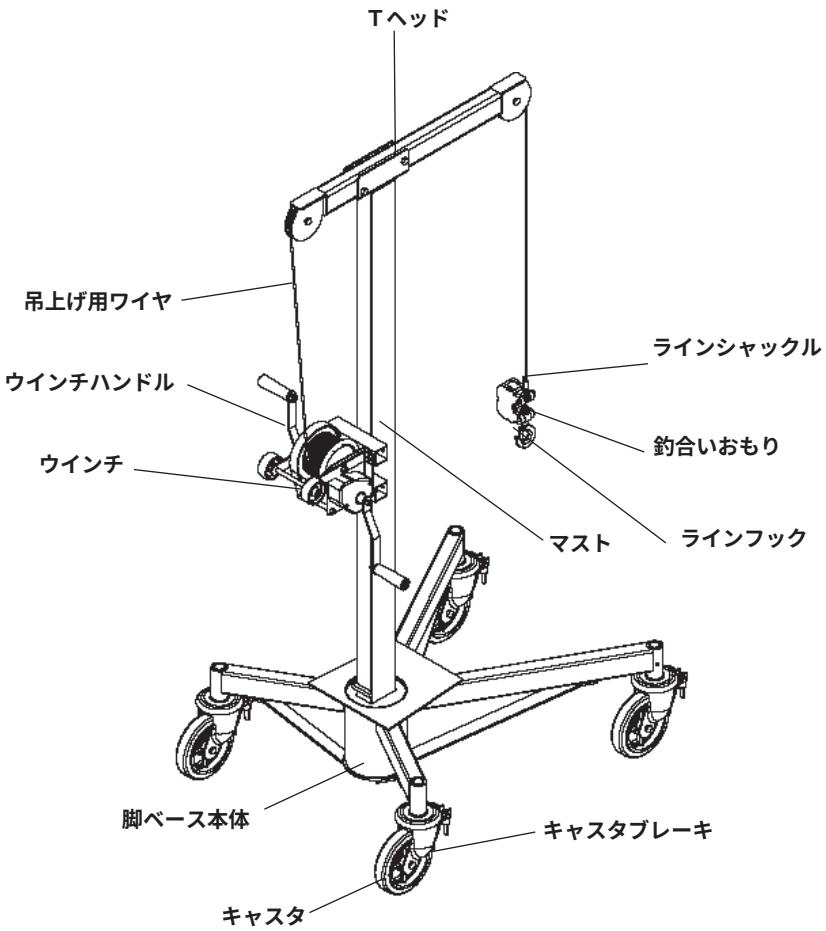
◆本機は、手動の吊上げリフトになります。
定期検査は、クレーンの定期自主検査に沿って検査を行ってください。

ホイストＦ２２４

製品の構成

各部の名称

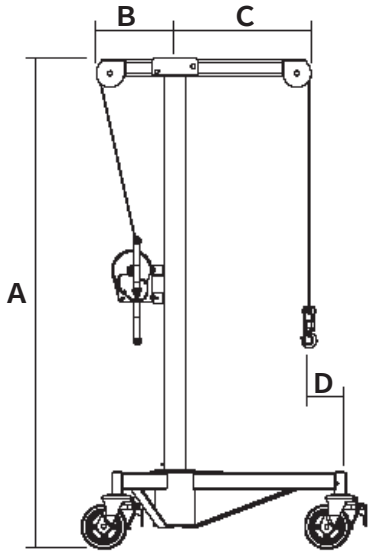
ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。
ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。



仕　様

品　名	ホイストＦ２２４
コードNo	S783900
高 さ	224cm
最大荷重	450kg
D寸法	19cm
B・C寸法	35.5・62cm
ベース寸法※	89X111cm
質　量	93kg

※：ベースのキャスタ軸中心間距離寸法になります。



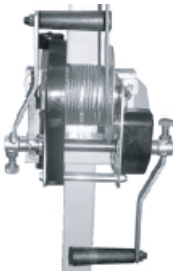
標準付属品

品　名	ホイストＦ２２４
マスト組	○
脚ベース本体	○
キャスタ	○
ウインチ組	○
取扱説明書	○

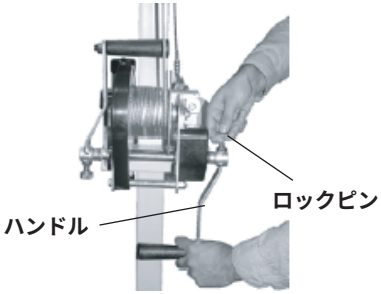
ホイストＦ２２４

組　立

①リフトを開梱する
出荷時、ハンドルは収納スペースに納められています。



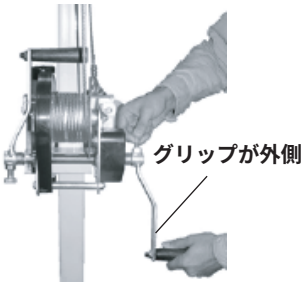
②ウインチを操作位置につけ、ロックピンを引き上げ、ウインチシャフトからハンドルを外します。



③ハンドル組を回し、黒いプラスティック製のグリップがウインチからみて外側に向くようにします。

④ロックピンを引き上げる一方で、ハンドルをウインチシャフトに戻します。

⑤反対側のハンドルも①－④の作業を行ないます。



⚠ 警 告

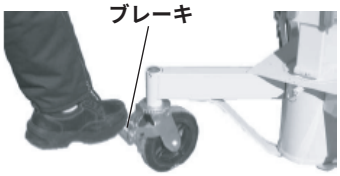
◆付属のハンドル以外で本機のワイヤロープを上げ下げしないでください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

◆適切に取り付けると、ウインチハンドルは180度逆になります。

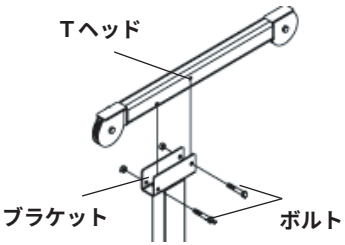
水平な場所に本機を設置します。

①脚ベース本体を上下逆さにします。
②脚ベース本体の４箇所の穴にキャスタを取り付けます。
③同梱されている六角穴付止ネジを脚ベース本体の４箇所の穴側面に取り付け、六角レンチで締め、キャスタを固定します。
ネジでキャスタの軸が締められていることを確認します。

④脚ベース本体を元に戻し、キャスタのブレーキをロックします。

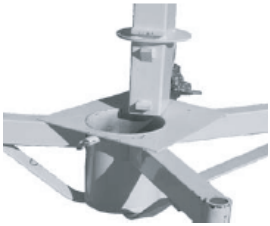


⑤Ｔヘッドをマスト組の上部にあるブラケットに挿入します。
⑥同梱されている２本のボルトでＴヘッドを固定します。
⑦Ｔヘッドの長いほうがウインチの反対側に来るようにします。



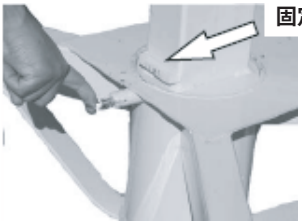
⑧マスト組を脚ベース組に、ウインチを脚ベースの背面部のソケットに組み付ける。
短い方の脚がついた方が、脚ベースの背面になります。

⑨脚ベース組とマスト組の固定ピンがかみ合っていることを確認する。



⑩ウインチを回して吊上げ用ワイヤロープの張りを緩める。
Ｕ字型ピンとＵ字型金具を取り外す。
吊上げ用ワイヤロープを下げて、作業者がワイヤロープの先に届く様にします。

⑪釣り合いおもりとラインシャックルを直接取り付け、ワイヤロープの端を輪にします。



使用方法

移動（荷物なし）

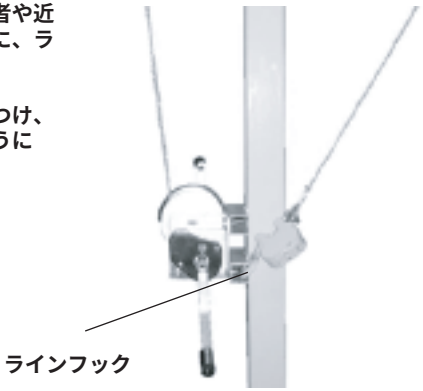
⚠ 警 告

◆作業者は機器を操作する前に必ず安全上の注意を十分に読んでください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

機械を動かす前に、常にマスト組を可能な限り下に下げて移動します。

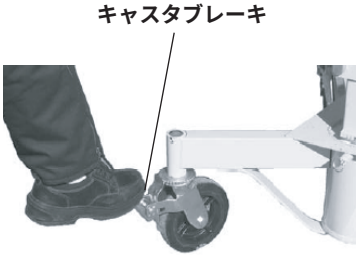
①機械を動かす前にケーブルがゆれたり、作業者や近くにいる人にぶつかったりするのを防ぐために、ラインフックをウインチの取付金具にかけます。

②ウインチのハンドルをウインチの両側にとりつけ、機器を動かすときにハンドルレバーとなるようにします。



③キャスタブレーキを解きます。

④ウインチハンドルを握り、Ｓ字で前に進めてキャスタをそろえて移動します。



⚠ 警 告

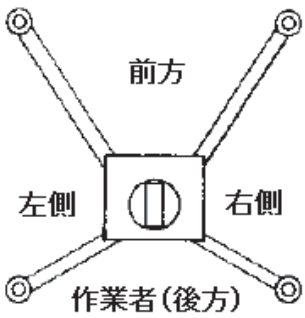
◆転倒や作業者のケガを避けるため、ホイストは平坦な場所でのみ使用します。

移動（荷物あり）

①本機で荷物を運ぶ時は、本機を安全に移動するため
に荷物は、脚ベース本体に載せます。

②荷物を載せた本機は、可能な限り前進のみで移動し
ます。

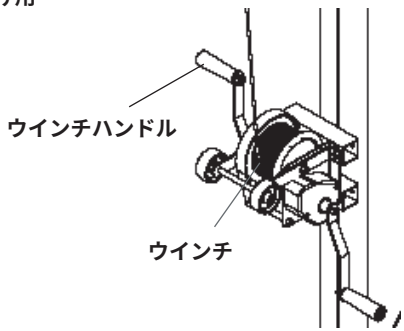
③前章「移動（荷物なし）」の②～④を繰り返します。



ホイストＦ２２４

ワイヤロープの上昇

①ウインチのハンドルを時計周りに回すと吊上げ用ワイヤロープが上昇します。



②吊上げ用ワイヤが上昇中はワイヤロープの先の輪、釣り合い荷重、ラインシャックルが決してＴヘッドに触れないようにします。

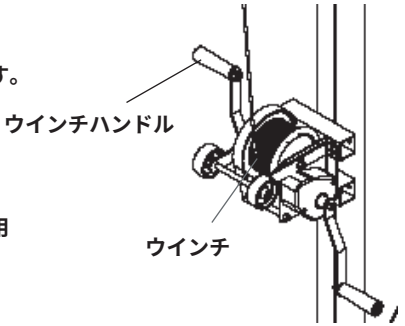
③ひびがはいったり、痛んだままＴヘッドを使用し続けると、Ｔヘッドが曲がる危険があります。

吊上げ用ワイヤを荷物に近づける

①ウインチハンドルを反時計方向に回して、吊上げ用ワイヤロープを下げます。

②荷物を取り付けるのに、安全で十分な長さにします。

③荷物を安全に持ち上げるために、痛んだ部品は使用しないでください。



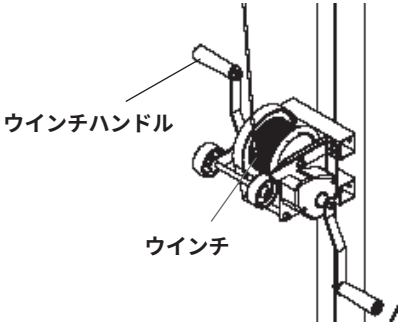
⚠ 警 告

◆ワイヤロープを上昇する時は、装具とバランスを確認するために、常に少しずつ荷物を上げて下さい。
荷物が落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

ホイストＦ２２４

荷物の上昇

①ウインチハンドルを時計周りに回して荷物を上げる。

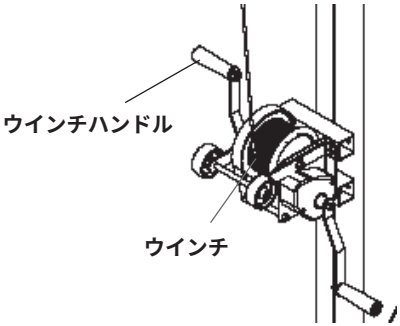


⚠ 警 告

◆作業中は荷物の下に入らないでください。
荷物が落下したり、ケガをする恐れがあります。

荷物の下降

①ウインチハンドルを反時計周りに回して荷物を下げます。



⚠ 注 意

◆荷重が吊り下げられている時は、ウインチハンドルはゆっくりと回してください。荷物が急激に落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

ホイストＦ２２４

マストの分解

⚠ 注　意

◆マストを取り外す時は必ずキャスタブレーキをかけます。

①脚ベース本体の固定ピンを、リングを引き、９０°回して外します。
リングが脚ベース本体ハウジングのスロットにはまっていないか確認してください。

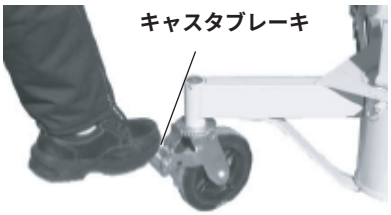
②プレイタブの下にバールを差し込んで、リングが脚ベース本体の一番上にくるまでマストを土台から上げます。

③脚ベース本体からマストを外します。

キャスタブレーキ

①ブレーキレバーを押してキャスタのブレーキをかけます。

②ブレーキの解除は、ブレーキレバーを上げます。

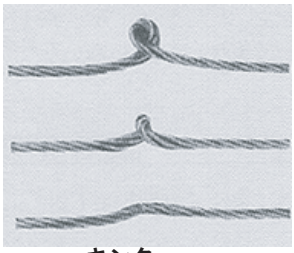


保守・点検

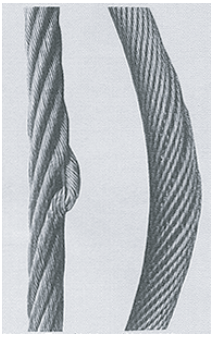
以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

使用前

①ワイヤロープに
・１０%以上素線が切断されているもの
・直径が７%以上減少しているもの
・キンクしたもの
・著しく形くずれ又は腐食
がないか検査します。
もし、ワイヤロープに異常があった場合は、ワイヤロープを取り替えるまでリフトを使用しないでください。



キンク



型くずれ

②ウインチが自由に操作でき、ケーブルがウインチドラムに絡まっていないか確認します。

③マスト、脚、脚ベース本体に曲がりがないか確認します。

④キャスタが自由に動くか確認します。

ホイストＦ２２４

６ヶ月点検

①ケーブルにキンク（ねじれ）やほつれがないか検査する。

②ウインチが自由に操作でき、部品が傷ついたり、無くなっていたりしていないか確認する。

日常点検と清掃

①両側のウインチハンドルに磨耗や曲がりがないか確認します。

②すべてのボルトとナットが締められているか確認します。

③脚、留め具、土台にへこみやキズがないか確認します。

④プーリのハウジングにプーリが回転するのを妨げるキズ（へこみ）がないか確認する。

⑤すべてのラインがすべてのプーリにおさまり、障害なくプーリが回ることを確認する。

⑥すべてのローラが自由に回るか確認する。

⑦ワイヤロープのスライド部に、ゴミや錆がないか確認し、スライド部にシリコン潤滑剤を軽くスプレーする。

⑧キャスタホイールが自由に回転し、損傷がないことを確認する。

⑨全体の汚れはやわらかいウエスでふき取り、汚れがひどいときは、水で浸した布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。
その後、乾いた布で拭いてください。

⑩使用後は全体を清掃してください。

⚠ 警 告

◆改造は絶対しないでください。
ホイストの改造は、ケガや死につながります。

⚠ 注 意

◆磨耗や損傷したものはサムナー（アサダ）の純正部品と交換してください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

ホイストＦ２２４

ウインチ

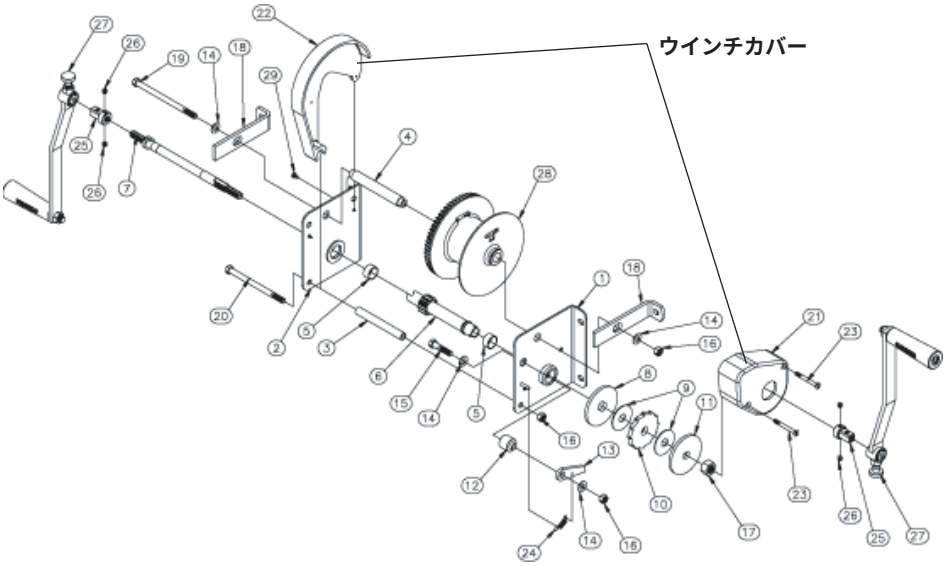
①下記のウインチ組の図面を参照にします。

②左右のウインチカバーがウインチについているか確認します。

③ラチェットドッグやブレーキラチェットが磨耗していないか確認する。もし磨耗があったら、部品を交換します。

④ギアの歯が磨耗していないか確認する。目視で磨耗がなければ、ギヤにモータオイル（１５Ｗ３０程度）を塗布します。

⑤適切なブレーキ調節については、２２ページ、「修理・サービスを依頼される前に」の「ウインチ」を参照してください。



ワイヤロープ交換

①マストを支持具にねかせ、ウインチを上向きにします。

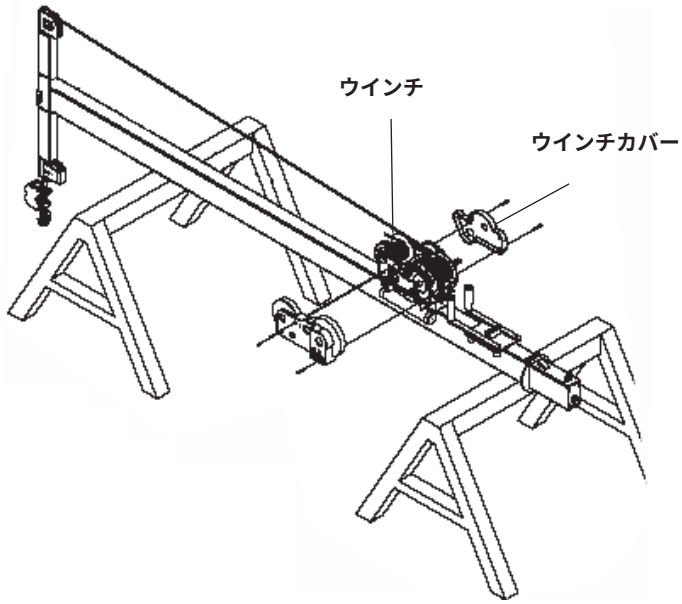
②左右のウインチカバーを外す。

③ロードラチェットドッグを外し、ワイヤロープを大きなほうのドラムから引いて外す

④ドラムのセットねじを緩め、キーパーからワイヤロープを外す。

⑤Tヘッドの前を通して、ロードラインを引きます。

⑥新しいラインをいれるため、逆向きにします。



修理・サービスを依頼される前に

●修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

現　象	原　因	対　策
ホイストが荷物を持ち上げない。	ウインチブレーキに調節が必要。	次ページ参照。
	ブレーキパッドが磨耗している。	ブレーキパッドを交換する。
	ラチェットドックやブレーキラチェットが磨耗している。	ラチェットドックやブレーキラチェットを交換する。
	ラチェットスプリングが壊れているか、磨耗している。	ケーブルがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ケーブルを交換する。
ウインチが回りにくい。	ブレーキがかみ合いすぎている。	次ページ参照。
	ブレーキが外れない。	次ページ参照。
	遊動輪が外れる。	遊動輪が自由に回り、遊動輪がギヤが磨耗しているか確認。
ウインチが動いてもブレーキがかからない。	ラチェットドックやブレーキラチェットが適切に付けられていない。	

ウインチ

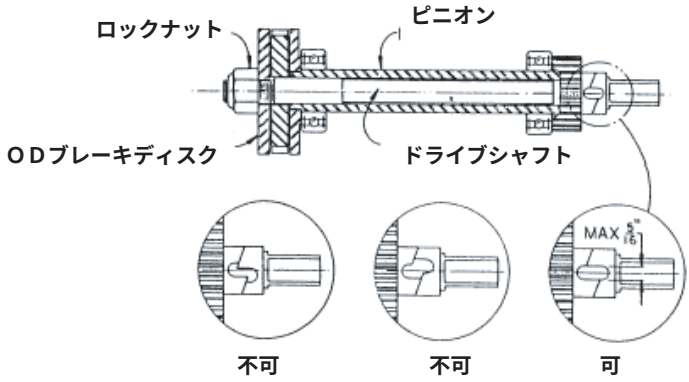
⚠ 重　要

◆下記の情報はロードドラムとホイストドライブシャフト両方にかかわります。

ＭＸウインチの適切な調節を行なうため、ピニオンとドライブシャフトはロックナットがＯＤブレーキディスクに対して締められた時に、下記の様に見られる位置になければなりません。

ロックナットは２０．３N-mのトルクで締めます。

適切な位置合わせはリフトに荷重がかけられたときのみ目視できます。



●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　年　月　日
お買い求めの販売店

Asada
アサダ株式会社

本　　社／名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　　店／東京・名古屋・大阪
営　業　所／札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社　（バ ン コ ク）
台湾浅田股份有限公司　（台　　北）
アサダ・アーロンコ マシナリー社　（クアラルンプール）
アサダ・ベトナム社　（ホーチミン）
上海浅田進出口有限公司　（上　　海）
アサダトレーディング USA　（オレゴン州・ユージン）

工　場
犬山工場　（愛知県・犬山市）
第一精工株式会社　（松 阪 市）
アサダ・マシナリー社　（バンコク）

お客様相談センター　0120-114510（イイシゴト）
〈受付時間〉AM9:00～12:00　PM13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

www.asada.co.jp

コードNo. IM0160 PRINT No. 130100A